

二次検診における早期緑内障診断に関する研究

1. 研究の対象

2013年10月～2019年4月までに二次検診目的に当院眼科を受診された方

2. 研究目的・方法

近年、検査機器の発達に伴い緑内障の早期発見が可能となり、視野異常が出現する前の前視野緑内障の関心が高まっており、二次検診における早期緑内障診断の検討を行う。二次検診目的に当院眼科を受診した者のうち、一次検診で高眼圧もしくは視神経乳頭陥凹拡大により緑内障が疑われた者を対象とする。対象者には全員に光干渉断層計(OCT)を施行し、OCTで異常が検出された者には視野検査(Humphrey視野計)を行い、二次検診における前視野緑内障の割合を調査する。

二次検診における早期緑内障診断ではOCTが有用であり、緑内障検出率の向上に寄与すると考える。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号

試料：OCT、視野

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 眼科 視能訓練士 高田 卓史

-----以上